

スコアシート	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能						3.1
Q-1 室内環境			0.40			3.4
1 音環境		2.7	0.15	-	-	2.7
1.1 騒音		2.0	0.40	-	-	
1 暗騒音レベル		2.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.3	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	主要な居室のスラブ厚さは150以上	4.0	0.15	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	主要な居室のスラブ厚さは150以上	4.0	0.15	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温設定		3.0	0.60	3.0	-	
2 負荷変動・過渡制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-	
4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
5 湿度・湿度制御		-	-	-	-	
6 湿度制御		-	-	-	-	
7 時間外空調		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.9	0.25	-	-	3.9
3.1 昼光利用		3.6	0.30	-	-	
1 昼光率	可能な限り開口を大きく設ける計画とした。	4.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御	窓面にはブラインドと庇を設けた	4.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
1 照度		3.0	1.00	3.0	-	
2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御	照明区画制御及び、リモコン制御を採用	5.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		4.0	0.25	-	-	4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格の☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	5.0	1.00	3.0	-	
2 化学汚染対策		-	-	-	-	
3 化学汚染対策		-	-	-	-	
4 レジデュアル対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.3
1 機能性		3.6	0.40	-	-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の基準は満たしている	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.50	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔	別紙耐用年数一覧表による	4.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新		-	-	-	-	
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新		-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新		-	-	-	-	
3 主要設備機器の更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		3.4	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	節水型器具を採用している	4.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	1階にサーバ室を設置。又、インフラにて各キャリア用予備配管を敷設	4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.2	0.29	-	-	3.2
3.1 空間のゆとり			3.4	0.31	-	-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		殆どの耐震壁は外壁に設けた。	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		教室にはOAフロア内配線を採用。各分電盤まで予備配管を敷設。各階にCEPSを設置。	5.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.4
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制		全ての窓に庇、ブラインドを設置し、外壁、屋根面には断熱を行った	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		空気汚れセンサーによる外気導入量制御	4.3	0.30	-	-	4.3
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水		WCIに撥音装置を設置	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム			3.0	0.67	-	-	
2 雑排水利用システム			3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材			3.3	0.85	-	-	3.3
2.1 資源の再利用効率			3.0	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率		主要構造躯体に電炉鋼を使用	4.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率			1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料		全面的に、JIS・JAS規格の☆☆☆☆以上の材料を使用	5.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性		OAフロアを採用し内装材と設備等を改修に取り外し易い計画として	4.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避			3.3	0.18	-	-	
1 消火剤		ハロン消火剤を未使用	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.7
1 大気汚染防止		燃焼機器を使用しない	5.0	0.15	-	-	5.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.15	-	-	3.0
2.1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2.2 振動			3.0	0.50	-	-	
2.3 悪臭			-	-	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.15	-	-	3.0
3.1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制		広告塔等は設置しない計画。	4.0	0.10	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善			1.0	0.30	-	-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.15	-	-	2.6
6.1 雨水処理負荷抑制			-	-	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
6.3 交通負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷			2.0	0.33	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分 総合スコア
		2751 m ²	-	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの	-	-	-	-	4.3
	高効率化	4.3	-	-	-	
3.1	空調設備	4.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	5.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-